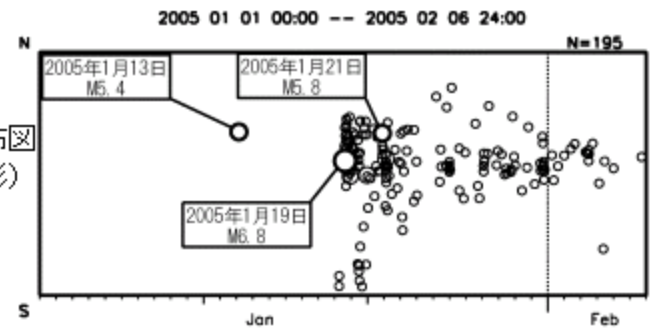
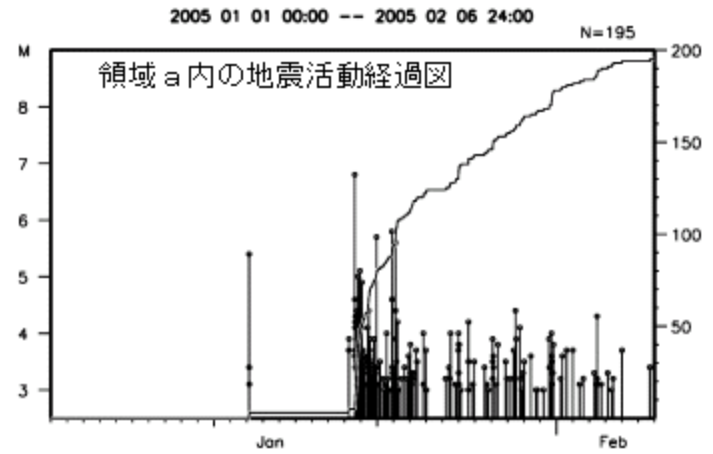
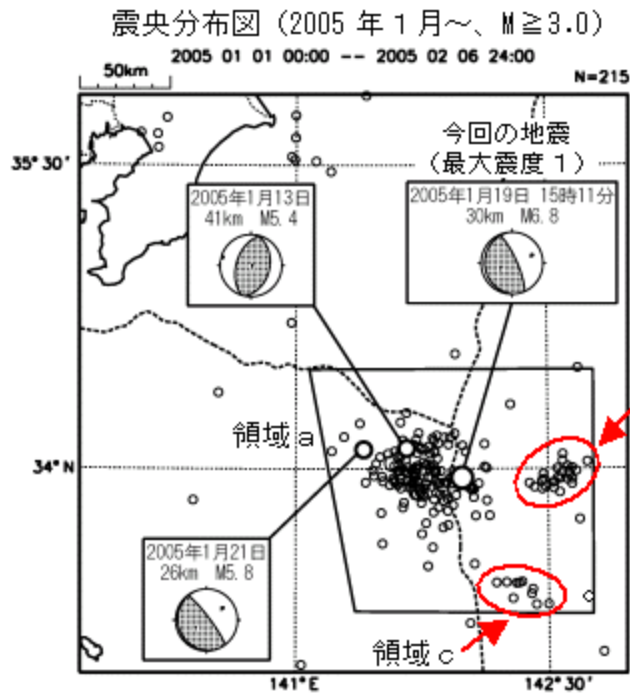


1月19日 房総半島南東沖の地震

2005年1月19日15時11分に房総半島南東沖のプレート三重会合点付近でM6.8(最大震度1、Mt7.5)の地震が発生した。この地震により、伊豆諸島の三宅島、大島、八丈島等で高さ0.1~0.3mの津波を観測した。発震機構(CMT解)は、東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。M3~4程度の余震が現在も発生している。

なお、今回の地震の6日前には、北西約30kmでM5.4の地震、直前~1日後にかけては、南南東約70kmでM4程度のまとまった活動がみられた。また、本震後10日程度からは、東約50kmでもM4程度のまとまった活動がみられている。



時空間分布図 (東西投影)

